

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■補充プリント

単元:4 東アジア世界とのかかわりと社会の変動

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ ① 元</p> <p>㊦ ② 元寇</p> <p>㊦ ③ (永仁の) 徳政令</p> <p>㊦ ④ 建武の新政</p> <p>㊦ ⑤ 日明貿易</p> <p>㊦ ⑥ 金閣</p> <p>㊦ ⑦ 応仁の乱</p> <p>㊦ ⑧ 銀閣</p>	<p>㊦ ① フビライ・ハンはモンゴル帝国を築いたチンギス・ハンの孫にあたる。都を大都(現在のペキン)に移し、元を建国した。</p> <p>② 1274年の文永の役、1281年の弘安の役をまとめて元寇とよんでいる。</p> <p>③ 徳政令により御家人の借金を帳消しにした。</p> <p>④ Aは後醍醐天皇である。討幕に失敗し、隠岐に流されたが、脱出して幕府に対抗した。</p> <p>⑤ Bの足利義満は貿易による利益に着目し、明の要求にこたえて、倭寇を禁止し貿易を始めた。</p> <p>⑥ 金閣は、足利義満が京都の北山につくった別荘、義満の死後、鹿苑寺となった。</p> <p>⑦ 応仁の乱で、京都は焼け野原となった。</p> <p>⑧ 銀閣は足利義政が東山につくった別荘で、義政の死後、慈照寺となった。</p>
<p>㊦ (1) 北条時宗</p> <p>㊦ (2) 文永の役</p> <p>㊦ (3) 倭寇</p>	<p>㊦ (1) 8代執権で、弘安の役後の1184年にわずか33歳で死去している。</p> <p>(2) 資料の中央上には、「てつほう」とよばれる火器が描かれている。</p> <p>(3) 倭寇は船団を組んで朝鮮半島、中国沿岸を荒らし回った。</p>
<p>㊨ (1) モンゴル帝国</p> <p>㊨ (2) 足利尊氏</p> <p>㊨ (3) 管領</p> <p>㊨ (4) 守護大名</p> <p>㊨ (5) 座</p> <p>㊨ (6) 惣</p>	<p>㊦ (1) モンゴル帝国はテムジン(即位してチンギス・ハン)が1206年に建国した。</p> <p>(2) 足利尊氏は鎌倉幕府の有力御家人であったが、後醍醐天皇のよびかけに応じ六波羅探題を攻め滅ぼした。</p> <p>(3) 管領には、細川、斯波、畠山の有力守護が交代で任じられた。</p> <p>(4) おもな守護大名として、三管領とよばれた細川氏・斯波氏・畠山氏、四職とよばれた山名氏・赤松氏・京極氏・一色氏などがあげられる。</p> <p>(5) 油座、綿座、麴座などが成立した。</p> <p>(6) 惣では寄合とよばれる協議機関で、さまざまなことが話し合われ、惣独自のきまりである惣掟もつくられた。</p>